



紹介します「黒浜小学校応援団」

黒浜小学校には、地域のかたで構成する学校応援団があります。特技を生かし、子どもたちの安全の見守り・環境整備・学習支援の面からご支援をいただいています。安全の見守りでは、子どもたちと挨拶を交わしながら登下校中の安全に注意を払ってくださいます。環境整備では、月に一度、学校内の樹木の伐採をしてください。学習支援では、農作物の栽培体験や総合的な学習の時間の授業のサポートをしていただきます。

このような素晴らしいかたがたとの出会いをたいせつにし、今後も「地域と共に歩む黒浜小」として、学校応援団や地域の皆様との絆をいっそう深めてまいりたいと思います。

黒浜小学校校長 飯野友子



社会体験チャレンジ事業を実施しています

市内各中学校では、2年生を対象に、地域の事業所の協力をいただき、職場体験学習を実施しています。事業所の体験を通じて、働くことの意義を理解するとともに、挨拶や言葉遣い、忍耐力、協調性、責任感など社会性を身につける貴重な機会となっています。



事業所で働く黒浜西中学校生徒

家庭学習のいっそうの充実に向けて

最近の調査で、家庭学習の時間と、学力の定着度が密接に関係していることがわかってきました。教育委員会では、これを踏まえて、児童・生徒の家庭学習の充実に向け、各学校で取組みを推進しています。「家庭学習の手引」を作成し、具体的な学習方法を示したり、学校のホームページで家庭学習コーナーを作成し、学力向上のためのワークシートとリンクさせたり、「家庭学習ノート」の活用などを行っています。

家庭学習の充実に向け、保護者の皆様に協力をいただきながら、児童・生徒の家庭学習を習慣づける取組みを行ってまいります。

図書館だより

* 司書のおすすめ *

三人屋

原田ひ香著 実業之日本社

商店街でそれぞれ店を営む三姉妹は、街の人に「三人屋」と呼ばれている。癖のある常連客が繰り広げる人情味あふれる物語。(黒)

6月 利用者 ▶ 8043人 貸出点数 ▶ 3万6663点

9月 休館日 ▶ 毎週火曜日、4(金)、21(月)、23(水)

図書館 ☎ 769-5198



We Love

男子バスケット部

蓮田中学校

「強い団結力と、明るい雰囲気が部の特徴です。目標は県大会出場です」と部長の小林春輝さん。上下関係がなく、1～3年生が仲良く活動しています。

くらしのノート

蓮田市消費生活センター (商工課内) (内線)248

日本年金機構の個人情報流出に便乗した不審電話に注意!



◆ ◆ ◆ (70歳代女性) ◆ ◆ ◆ 日本年金機構における個人情報流出に関連して、不審な電話に関する相談が寄せられています。公的な機関やそれに似た名称を名乗り、家族構成や資産状況などを聞き出すというケースもあります。本件に関し、日本年金機構や消費者庁、国民生活センター、電話が切れた。

1、消費生活センター、郵便局等の職員が電話やメールで連絡し、個人情報を出し出すことは絶対にありません。また、日本年金機構からの情報流出に関するおわびの手紙で、基礎年金番号や銀行の口座番号などを記載して返送をお願いすることもありません。「あなたの年金情報が流出している」「流出した情報を削除できる」「年金受取口座のキャッシュカードを送るよう」などと持ちかけてくる電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。また、年金に関する不審なメールが送られてきても、安易に開かないでください。不安に思ったときは、消費生活センター等に相談してください。

にゃんたぶう はなそ

第28回 献血推進協議会委員



にゃんたぶう 今回は、献血推進協議会委員の皆さんにお話を伺います。

田口さん 献血推進協議会委員は、12人の委員で構成されています。市内の施設や企業、イベントなどで献血推進活動をしていて、今年度は23回の献血を市内各所で行わせていただく予定です。ちなみに、昨年の雅楽谷の森フェスティバルでは126人が献血してくださりました。

にゃんたぶう 126人!すごい!にゃんたぶうも彩の国けんけつ特命大使に任命されていて、献血をPRする歌を歌ったり、献血推進活動の応援に行ったりしています。今まで参加した献血イベントでは、献血されるかたは多くても70人くらいでした。

高橋さん 献血に協力して下さるかたは、比較的高齢のかたが多いですね。蓮田市は、県内でも高い献血率なんです。ただ、献血できる年齢には上限があるので、69歳以上になると献血ができなくなってしまいます。

にゃんたぶう これからはもっと若い人たちの協力がなくて、血液が不足していってしまうんですね。高橋さん 全国的には血液が不足しているという現実を理解していただきたいです。

飯野さん 若い人たちにも献血というものにもっと関心を持ってもらいたいです。また血液を採ることで、血液検査をすることもできるので、健康管理に役立てていただくこともできます。

にゃんたぶう 献血って、誰かのために与えるだけ、というイメージがあると思うので、そういう利点も知ってもらいたいですね。

飯野さん 共存社会の中で助け合うということも皆さんに意識していただきたいです。

にゃんたぶう 医療が発達しても血液は人工的に作れず、献血に頼るしかないんですね。にゃんたぶうもみんなに献血してみようと思ってもらえるようにがんばります!今日はありがとうございました。

編集・広報広聴課情報発信担当(内線)215



高橋 保さん 田口 真悟さん 飯野 健三さん